

青少年育成センターだより

第203号 2025. 4. 1

防府市教育委員会生涯学習課

青少年育成センター

0835-25-2922



いよいよ、令和7年度が始まりました。

子どもたちも新しい年を迎え、気持ちを新たにしていることでしょう。4月には、新しいものがたくさんあります。新しい教科書、新しいノート、新しい文房具、そして子どもたちの新しい気持ち。「初心忘（わす）るべからず（世阿弥）」 子どもたちは、今の「やってやろうという気持ち」を忘れないようにしてほしいものです。

自分に自信がもてるようになるためには

“日本の子どもは、自分に自信がもてない子が多い”ということをよく聞きます。本当にそうなのでしょうか？

過大な自信をもち、努力をしない子どももよくないのですが、自信がもてない子どもも心配です。子どもには、自信をもって物事に臨める人間に育ってほしいものです。

今号では、自分に自信がもてるようになるためには、どうしたらよいかということについて考えてみましょう。この問いに作家の瀬戸内寂聴さんは次のように答えられています。（講演会で生徒の質問に対して答えられたものです）

自分の好きなことを決めなさい。だれでも、自分の好きなことがありますよね。たとえばスポーツが好きだとか、国語が好きだとか、数学が好きとか、何か好きなものがあるはずです。何だか知らないけれども絵をかくのがいちばん好きだとかね。自分が何が好きかということをちゃんと決めればいいんです。それをやればかならず人生が楽しくなりますから。才能があるかないか、そんなことを先に気にしても仕方ありません。まず、好きなことをやってみるべきです。もちろん人間ですから選択を誤ることもあります。どうしても後悔するときもあります。そういう後悔を繰り返しながら自分の知恵が進むんですね。失敗の経験によって人間は利口になっていく。だから後悔しても、そのことによってしょげることはありません。失敗を失敗と認めなさい。そうしたら、そこで失敗しない知恵が自然に生まれてきます。二度はしても、三度同じ失敗はしないと思います。

「生きることは愛すること」 瀬戸内寂聴 著 講談社文庫

寂聴さんは、自信がもてるようになるためには「好きなことを決めること」が大切だと言っておられます。自分の好きなことを楽しみながら取り組むことに苦痛を感じる人はいません。取り組んだ結果がうまくいき、人から認められたり、褒められたりすればさらにやる気が起きます。逆に、失敗したとしても好きなことですからやり続けられるのです。

そこで、好きなことを見つけるには、どのようにしたらいいのでしょうか。それは様々なことを体験することだと思います。「できたこと」「できなかったこと」、「楽しかったこと」「苦しかったこと」等を経験する中で、自分が好きなものを見つけることができるのだと思います。

親が気をつけなければならないことは、子どもの姿を見て、無駄なことをしているように見えても止めずに、最後まで自分でさせ、結果に責任をもたせることです。結果がどちらになっても子どもは大切なものを得ることができるのです。まずは、いろいろなことを体験させましょう。

文責＝青少年育成センター指導員 藤村